

令和5(2023)年度 第1回東近江市環境審議会議事概要

◆開催日時

令和5年(2023年)10月3日(火)午後1時30分～午後3時25分

◆開催場所

東近江市役所 313 会議室

◆東近江市環境審議会委員(敬称略、順不同)

出席者

仁連 孝昭、植田 すえ子、野間 直彦、山崎 亨、藤井 絢子、藤岡 康弘、
奥田 一臣、金 再奎、向 真史、足立 進、綾 康典、熊倉 弘富美、小西 恵美子、
水野 扶美、猪田 道代、吉居 崇司

欠席者

なし

◆事務局

環境部

部長 村田 淳子、次長 仲谷 隆彦

森と水政策担当管理監 丸橋 裕一

生活環境担当管理監 西 直樹

森と水政策課

課長補佐 鎌倉 厚徳、係長 松居 正人、副主幹 川原絵里子

主任 竹中 壽人

生活環境課

参事 中島 亮、係長 村井 明生

資源再生推進課

参事 福田 均

◆傍聴者

なし

◆議 事

1 開 会

2 令和5年度東近江市機構改革について

3 会長あいさつ

4 議 事

(1)第2次東近江市環境基本計画の進捗管理について

(2)環境調査について

(3)その他

5 閉 会

◆議 事 (1)第2次東近江市環境基本計画の進捗管理について

- ・第2次東近江市環境基本計画の進捗管理について(資料2) 森と水政策課

§ 審議会意見

【再生可能エネルギー普及プロジェクト関連】

- ・薪の流通状況を伝達する情報交流システムがあればよいのではないか。
- ・BDFの精製に係るクレジット化については、第3次環境基本計画において、量と動き、国際的な状況を併せて掲載すべき。

【エコケアライフへの転換プロジェクト関連】

- ・プラスチック循環法の趣旨に鑑み、リデュースの取組も推進しなければならない。

【森おこしプロジェクト関連】

- ・山に行ってみようというモチベーションが少ないと感じるので、市民参加型調査を行うなど森林に関わる人を増やす取組を実施してはどうか。
- ・森林については、保全も大切であるが材として動かす量の確保も必要で、その中で保全や生物多様性の学びなどを有機的に連携させることで、よい取組が展開できるのではないか。
- ・地域ごとの森林整備の目標が策定されたことは大きな成果である。森林整備は緊急の課題であり、森林がきちんと管理されることで生物多様性の保全・再生につながる。
- ・企業は、森林にかなり関心を持っており、森林の保全に関われるメニューを作れば積極的に参加すると思う。そのようなメニューを作っていただきたい。

【生物多様性の保全・再生プロジェクト関連】

- ・生物多様性の保全・再生プロジェクトに鳥獣対策の推進を置いたということは、どのような状態を目指すのかということも明確に書き込むことが必要ではないか。
- ・イノシシは、山の土壌を健全にするという環境へのプラス面もある。里に下りてきて農作物に被害を及ぼすのはマイナス面で、イノシシをいなくするのではなく、里に下りてくることなく山で暮らせるようにどうするかが大事である。
- ・シカは増えすぎており、もう少し頭数管理をしていく必要があるのではないか。そのため、健全な森をどうつくるか、人間と野生動物がどう共生していくかについての考え方が必要である。

【森里川湖のつながり保全・再生プロジェクト関連】

- ・エコツーリズムと海外の人々との橋渡しやPRにも力を入れてはどうか。
- ・愛知川内水面漁業振興協議会は、全国的にも先進的な取組であり、今後は中止することなく開催していただきたい。

【人材育成プロジェクト関連】

- ・つながり概念図は、東近江市の環境に関する取組における非常に魅力的なつながりを示している。もっと作りこんでPRし市民に知ってもらうことから人材育成がスタートするのではないか。

◆議 事 (2)環境調査について

- ・環境調査まとめ(資料3) 生活環境課

§ 審議会意見

- ・大腸菌数については、今年から評価が開始されたもので、これからデータが集まってくる。今後しっかりと注視していくとよいのではないか。従来の大腸菌群数では、土の中の細菌などによってもかなり増減があるため汚染のあるなしが分かりにくかった。この点が改善されている。
- ・PFASを含めて今までになかったような化学物質の問題も生じている。井戸水や簡易水道を利用している世帯数等は、どのような水源で生活しているのかという基礎情報となる。
- ・東近江市の中心を流れる愛知川の濁りが続くことに対し、市民が「おかしい、何とかしなければ」という感覚を持つようにしなければならない。
- ・愛知川の濁りの問題とダムの管理に関して、国や県に要望してもらいたい。

◆議 事 (3)その他

- ・小水力発電促進モデル事業について(資料4) 森と水政策課
- ・公有財産への再生可能エネルギー発電設備の設置について(資料5) 森と水政策課

§ 審議会意見

- ・地域で起こしたエネルギーは地域の経済を回すのが基本であり、地域にお金が落ちる構造を考えなければならない。
- ・再生可能エネルギーの普及に当たって自然環境への支障を検討する際には、今の制度で問題ないとされる一歩先を検討していただきたい。

以上